



国立大学法人

名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

DATA BOOK

2020-2021

- 1 沿革
- 2 学部・大学院
- 3 学生数
- 4 入学者出身高校所在地
- 5 入学状況
- 6 生涯学習
- 7 卒業後の進路
- 8 外国人留学生・国際交流
- 9 科学研究費助成事業
- 10 共同研究・受託研究
- 11 プロジェクト研究所
- 12 図書館
- 13 財政状況
- 14 役員・教職員数
- 15 キャンパス面積
アクセス

名古屋工業大学憲章

基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。

ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。

ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創成し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。

未来づくり

名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

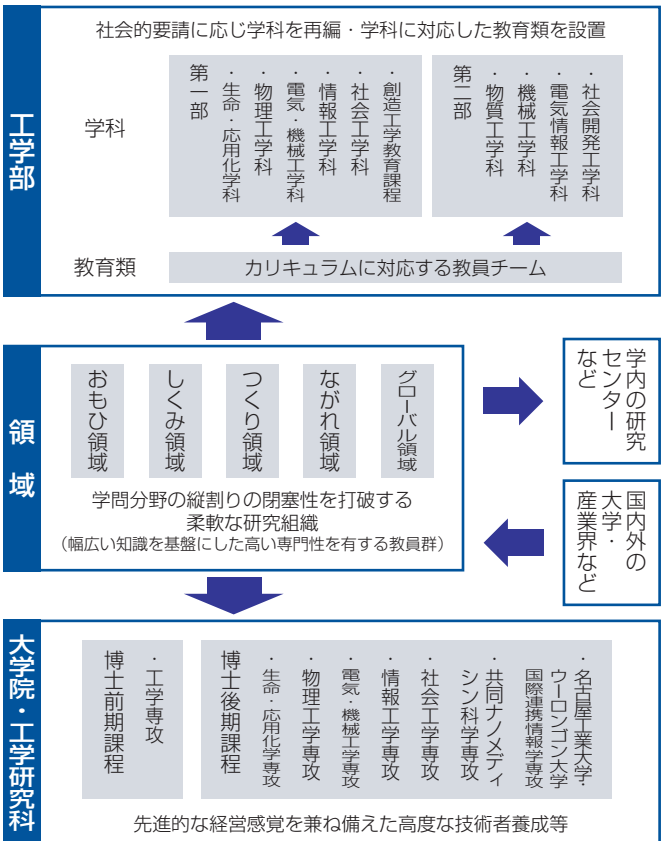
2012年1月1日制定

教員組織

教員組織として「領域」を設置

学問分野による縦割りの教育研究組織から離れて、異分野の教員が交流する横断的、学際的な研究系組織として「領域」を置いています。おもひ、しくみ、つくり、ながれという四つの領域に加えて、2016年度には、グローバル教育研究改革・機能強化を一層推進するために、雇用する海外有力大学からの教育研究ユニットの研究者や学長のリーダーシップにより本学の研究力強化を目的として採用する教員を配属するグローバル領域を設置しました。

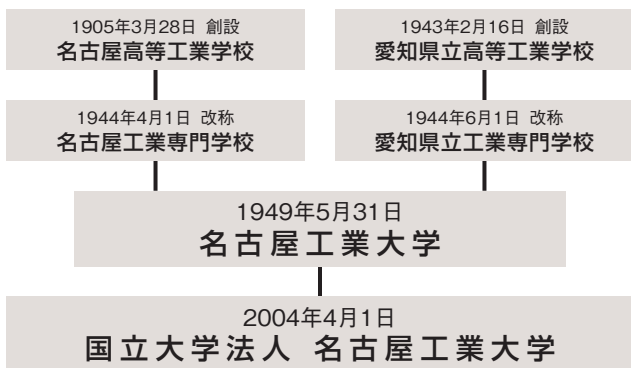
各教員は、いずれかの領域に所属し、教員同士が互いに刺激し合うことで、新たな学際的な研究プロジェクトが立ち上がることを期待するものです。



1

沿革

明治38年創立の伝統の上に新たな風を



■名古屋工業大学は、1905年創設の名古屋高等工業学校と、1943年創設の愛知県立高等工業学校が合併し、1949年に新制大学として発足しました。

■2004年に「国立大学法人名古屋工業大学」として新たに発足しました。

2

学部・大学院

第一部5学科、1課程、第二部4学科、大学院8専攻の工学系の単科大学

工学部第一部

5学科、1課程

生命・応用化学科
物理工学科
電気・機械工学科
情報工学科
社会工学科
創造工学教育課程

工学部第二部

4学科

物質工学科
機械工学科
電気情報工学科
社会開発工学科

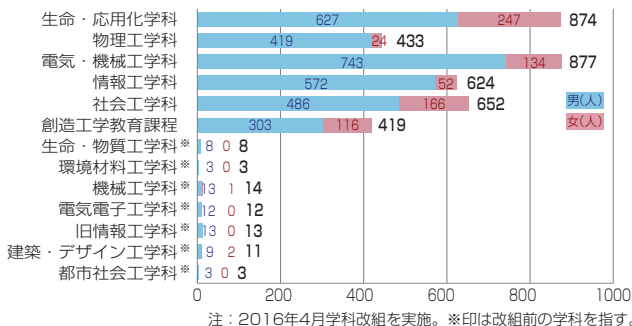
大学院工学研究科

8専攻

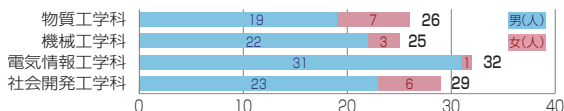
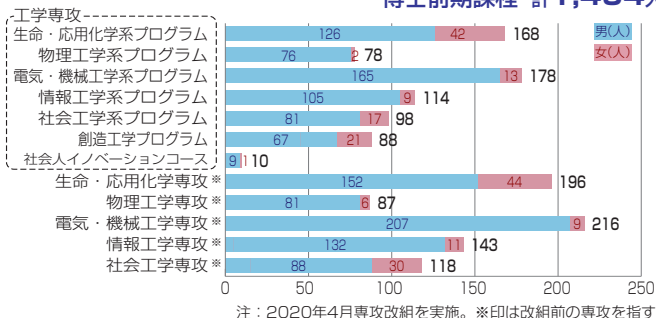
(博士前期課程)
工学専攻
(博士後期課程)
生命・応用化学専攻
物理工学専攻
電気・機械工学専攻
情報工学専攻
社会工学専攻
共同ナノメディシン科学専攻
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学
国際連携情報学専攻

5,771人が在学中 そのうち約17%が女子

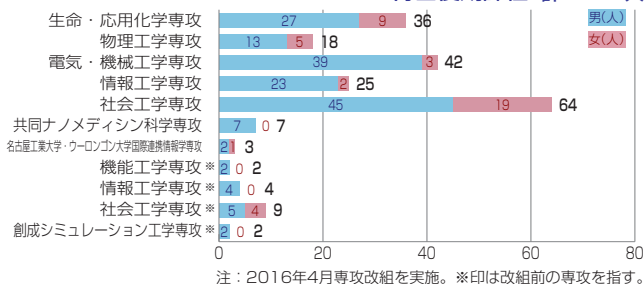
◆工学部(第一部) 計3,953人



◆工学部(第二部) 計112人

◆大学院工学研究科 計1,706人
博士前期課程 計1,494人

博士後期課程 計212人

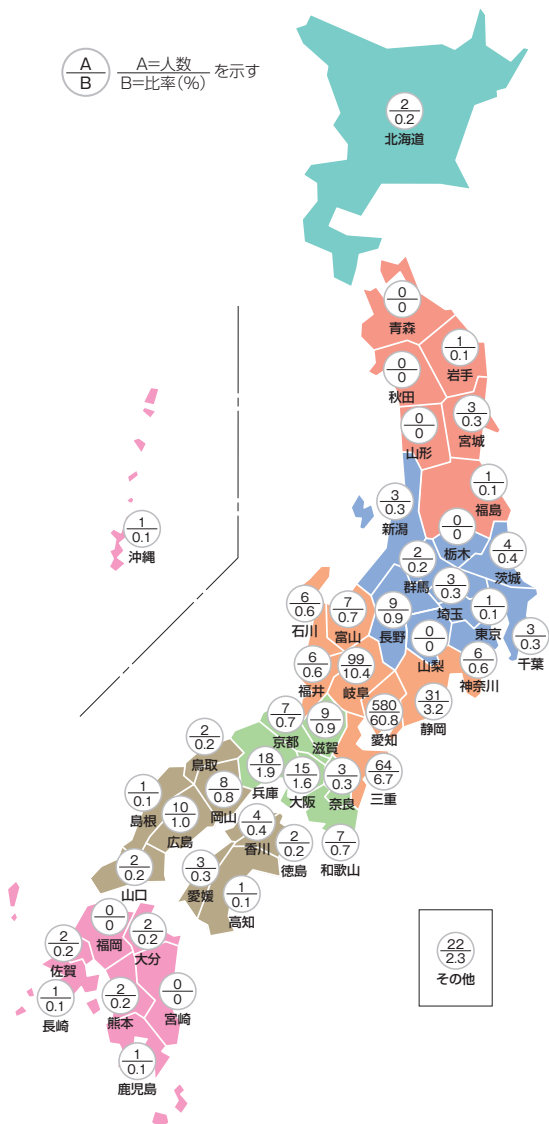


4

入学者出身高校所在地

■ 東海・北陸地区を中心に全国から学生が集まっています。

■ 2020年度入学者の場合、東海3県の出身割合は、第一部が77.9%、第二部が75.0%です。愛知県出身割合は、第一部が60.7%、第二部が65%です。



5 入学状況

■2020年度志願倍率は、第一部前期日程3.5倍、第一部後期日程7.1倍、第二部5.2倍、大学院博士前期課程1.2倍、大学院博士後期課程1.4倍となっています。

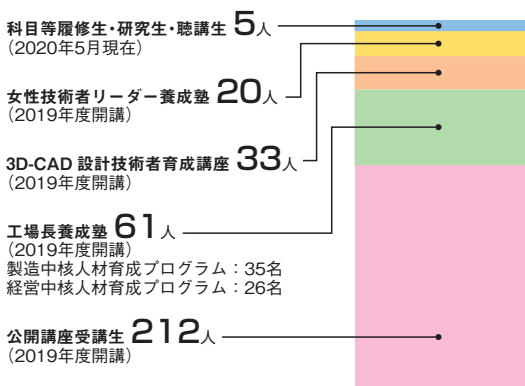
区 分	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	
工学部 (第一部)	推薦	116	303 (128)	121 (46)	121 (46)
	AO 入試	3	3 (1)	1 (1)	1 (1)
	前期日程	490	1,728 (274)	504 (79)	497 (78)
	後期日程	301	2,125 (341)	358 (57)	298 (50)
	私費外国人 留学生特別入試	若干名	119 (31)	23 (7)	7 (1)
	国費・政費	若干名	6 (3)	6 (3)	6 (3)
	日韓	若干名	4 (0)	4 (0)	4 (0)
工学部 (第二部)	20	104 (11)	22 (3)	20 (2)	
大学院工学研究科 (博士前期課程)	686	841 (123)	759 (108)	735 (104)	
大学院工学研究科 (博士後期課程)	42	58 (11)	54 (9)	53 (9)	
合 計	1,658	5,291 (923)	1,852 (313)	1,742 (294)	

注：() は、女子数を内数で示す。

6 生涯学習

様々な形で生涯学習を行っています

◆社会人数



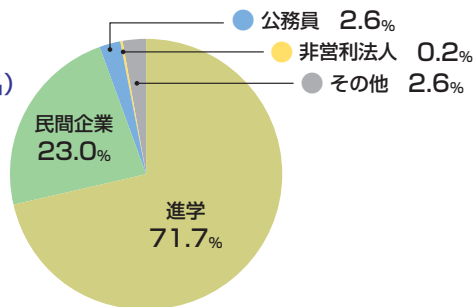
■博士前期課程、博士後期課程にも計144人の社会人が在籍しています。

7 卒業後の進路

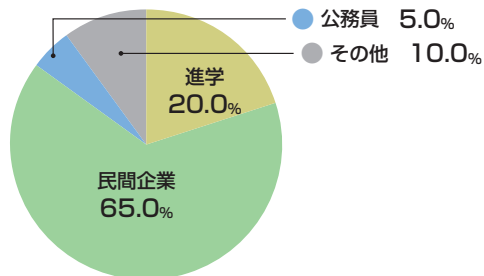
学部卒業生の70.7%が大学院へ

学部・大学院別進路状況 (2019年度卒業・修了者)

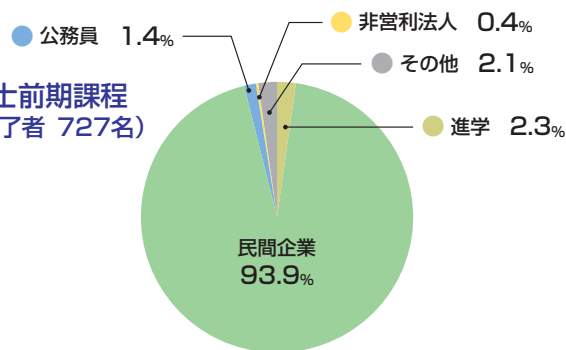
◆第一部 (卒業生 941名)



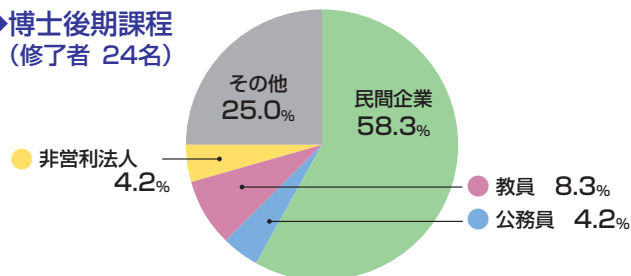
◆第二部 (卒業生 20名)



◆博士前期課程 (修了者 727名)



◆博士後期課程 (修了者 24名)



◆主な就職先

区分	学部 (一部・二部)				大学院博士課程 (前期・後期)							
産業界	トヨタ自動車	7名	アイシン精機	2名	デンソー	30名	ソフトバンク	8名	清水建設	5名	日立製作所	4名
	トヨタ紡織	4名	日本ガイシ	2名	豊田自動織機	23名	ブラザー工業	8名	ジェイテクト	5名	ヤマハ発動機	3名
	トヨタ車体	4名	パナソニックエコシステムズ	2名	アイシン精機	20名	日本製鉄	8名	三菱重工業	5名	FUJI	3名
	中部電力	3名	アイシン・エイ・ダブリュ	2名	中部電力	18名	アイシン・エイ・ダブリュ	7名	中日本高速道路	5名	東邦ガス	3名
	大成建設	3名	住友電装	2名	東海理化電機製作所	13名	住友電装	7名	日本特殊陶業	4名	JSR	3名
	エヌ・ティ・ティ・データ東海	3名	三菱電機	2名	トヨタ自動車	12名	トヨタシステムズ	7名	アドヴィックス	4名	花王	3名
	デンソークリエイト	3名	日本特殊陶業	2名	トヨタ紡織	11名	トヨタ車体	6名	三菱自動車工業	4名	楽天	3名
	パロマ	3名	JR東海コンサルタンツ	2名	ダイキン工業	10名	大成建設	6名	東海旅客鉄道	4名	京セラ	3名
	大林組	3名	ヤマハ発動機	2名	日本ガイシ	9名	リンナイ	6名	アビ	4名	三菱ケミカル	3名
	榎屋	3名	デンソーテクノ	2名	豊田合成	9名	ノリタケカンパニーリミテド	6名	ヤフー	4名	竹本油脂	3名
	ヴィッツ	3名	パイロットインキ	2名	本田技研工業	9名	三菱電機メカトロニクスソフトウェア	6名	ヤマザキマザック	4名	東京電力	3名
	オービック	3名	パップファロー	2名	パナソニック	9名	三菱電機	5名	愛知製鋼	4名	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	3名
	積水ハウス	3名	住友林業	2名	川崎重工業	9名	マキタ	5名	村田製作所	4名		
	デンソー	2名			パナソニックエコシステムズ	8名	スズキ	5名	日本車輛製造	4名		

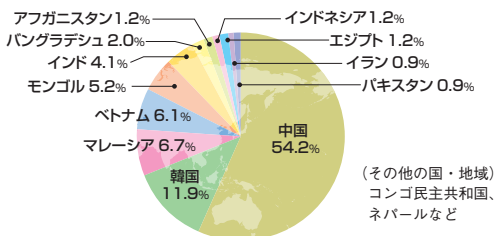
区分	学部 (一部・二部)				大学院博士課程 (前期・後期)			
非営利法人庁	名古屋市	10名	岡崎市	1名	名古屋市	2名	国土交通省	1名
	愛知県	4名	国土交通省中国地方整備局	1名	名古屋港管理組合	1名	同済設計事務所 (中国)	1名
	名古屋港管理組合	2名	三重県警察	1名	国土交通省中部地方整備局	1名	豊橋市	1名
	国土交通省中部地方整備局	1名	滋賀県	1名	岐阜県	1名	豊田市	1名
	愛知県警察	1名	小牧市	1名	京都府教育委員会	1名	(一財) 材料科学技術振興財団	1名

注：官公庁は、教育機関を除く。

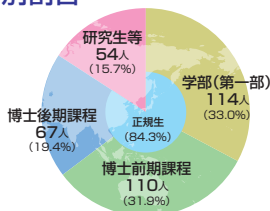
外国人留学生は345人 36の国と地域、91大学等と交流協定締結

■名古屋工業大学で学ぶ留学生は、世界26の国と地域からの345人です。うち95.7%に当たる330人がアジア地域からの留学生です。中でも中国からの留学生が一番多く、187人を数えます。

◆留学生の国別割合



◆留学生の区分別割合



◆国際化推進事業

国際化推進事業は、本学の学生が、海外の企業、高等教育機関、研究所等で、国際インターンシップや教育・研究活動に従事し、広範な基礎的・革新的知見、特殊技能・技術、より高度な論文作成能力及び外国語による発表能力について研鑽を積むことを支援しています。

国際化の基盤作り強化と、国際的視野に富む有能な人材育成を推進するものです。

また、本事業は、一般社団法人名古屋工業会からの寄附金に基づき、実施しています。

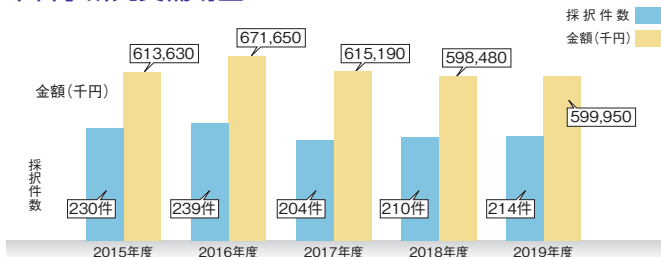
2019年度

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
アメリカ	3	オーストリア	1	マレーシア	2
イギリス	3	スイス	1	インド	1
フランス	6	ポーランド	1	韓国	1
ドイツ	4	フィンランド	2	シンガポール	1
スペイン	2	ハンガリー	1	スウェーデン	2
イタリア	2	中国	1	タイ	1
オランダ	1	トルコ	1	フィリピン	1
				総派遣者数	38

採択件数214件 5億9,995万円

■科学研究費助成事業は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする研究助成費であり、大学等の学術研究を推進し、我が国の基盤研究を形成するための重要な経費です。

◆科学研究費補助金



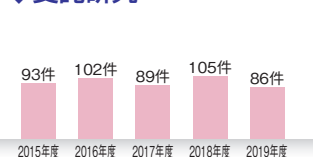
多くの共同研究・受託研究を実施

◆共同研究



「共同研究」とは、企業等から研究者と研究経費を受け入れて、本学の教員と共通の課題について共同で行う研究です。

◆受託研究



「受託研究」とは、学外機関等からの委託を受けて大学として行う研究で、これに要する経費を委託者が負担するものです。

◆知的財産収入

	金額 (千円)				
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
特許権等	12,888	13,486	8,791	54,354	11,497
著作権	236	157	0	596	148
ノウハウ	4,320	6,122	5,338	6,246	5,738
有体物	2,509	1,410	3,313	14,760	5,152
合計	19,953	21,175	17,442	75,956	22,535

■プロジェクト研究所は、学際プロジェクトや産学官連携に資する研究を推進するもので、事業に要する経費は、各年度2,000万円以上の外部資金をもって充て、設置期間は3年以上5年以下とすることを設置の条件としています。

2020年5月現在設置されている研究所の名称、研究代表者（プロジェクト研究所長）は以下のとおりです。

研究所の名称	研究代表者（研究所長）
コレクティブインテリジェンス研究所	伊藤 孝行
日本ガイシ マテリアルイノベーション研究所	森 秀樹
無焼成セラミックス研究所	藤 正督
表面反応化学研究所	白井 孝
国際音声言語技術研究所	徳田 恵一
建設材料研究所	白井 孝
生体電磁工学研究所	平田 晃正
ナノ材料・機能分子創製研究所	日原 岳彦
窒化ガリウムパワー半導体研究所	江川 孝志
次世代エンジニア育成研究所	産学官金連携機構長
次世代車載ネットワーク研究所	各務 学
ミリ波・テラヘルツ波ワイヤレスシステム研究所	榊原久二男
新世代耐震工学研究所	野中 哲也
ピアマカニクス・アドバンスドモーションシステム研究所	岩崎 誠

注：設置順

蔵書数は約46万7千冊

◆蔵書総数

和書	259,977	このほかに	
洋書	206,759	雑誌	5,663
合計	466,736	電子ブック	20,892
		電子ジャーナル	7,491

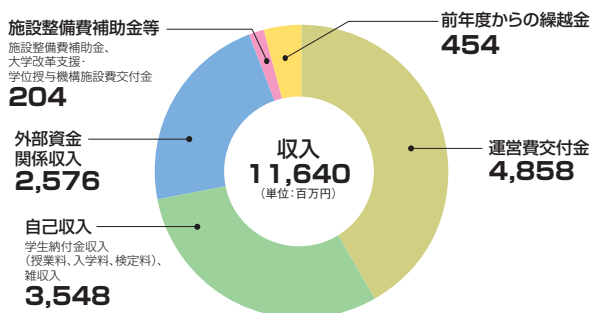
◆学外利用者数

2019年度 2,546人

- 名古屋工業大学図書館の蔵書は、和書約26万冊、洋書20万7千冊、合わせて約46万7千冊にのぼっています。
- 市民への開放も積極的に実施しています。
- 「名古屋工業大学学術機関リポジトリ」から博士論文など本学で作成された学術論文をご覧いただけます。

13 財政状況

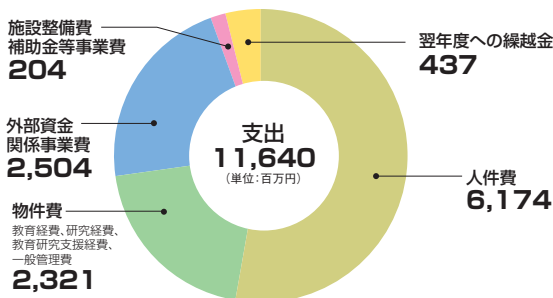
2019年度財政状況（百万円未満四捨五入）



注1：単位未満の四捨五入により合計額が一致しない場合がある。

注2：外部資金関係収入については、〈外部資金関係内訳〉を参照。

注3：前年度からの繰越金については、2019年度支出分のみを記載。



◆外部資金関係内訳

(単位:百万円)

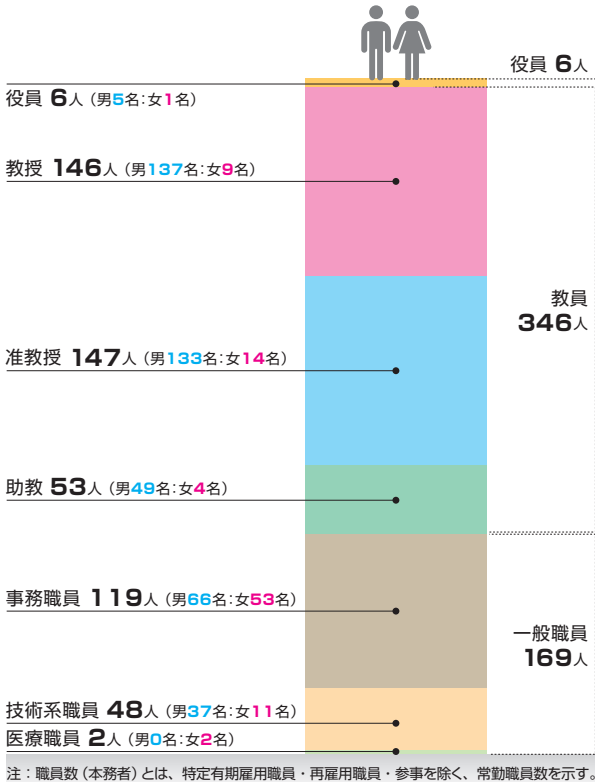
区 分	件 数	決 算 額
寄 附 金	548	240
受 託 研 究 費	86	1145
共 同 研 究 費	303	807
受 託 事 業 費	20	107
ぎふ技術革新センター運営協議会 共同研究助成事業助成金	1	1
科学技術人材育成費補助金	2	22
国立大学イノベーション創出環境強化事業交付金	1	100
中小企業経営支援等対策費補助金	6	13
間接経費（科学研究費補助金等）	291	141
計	1,258	2,576

注1：単位未満の四捨五入により合計額が一致しない場合がある。

注2：件数及び決算額については、2019年度決算資料に基づく。

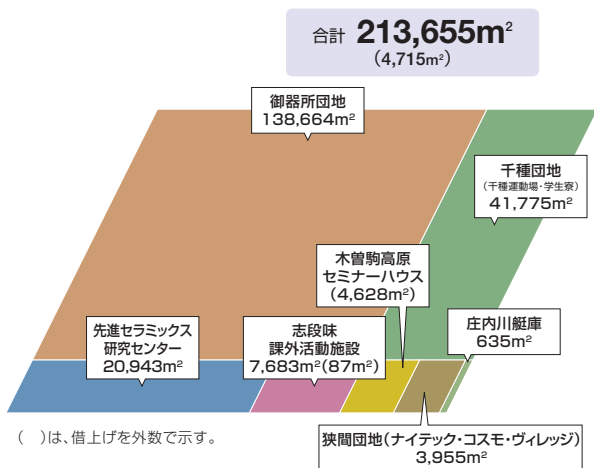
521人のスタッフが大学を支えています

- 大学は教育研究機関という性格上、多くのスタッフを抱えており、名古屋工業大学におけるスタッフの総数は521人です。そのうち、スタッフ（専任のみ）の66.4%が教員です。
- 教員のうち27人（7.8%）、一般職員のうち66人（39.1%）が女性で、全体の18.1%を占めています。



総面積は約21.3万 m²

- 名古屋工業大学の総面積は約21.3万m²です。それ以外に4,715m²を借上げています。
- 敷地は、御器所団地（昭和区）と千種団地（千種区）に分かれており、庄内川艇庫（中川区）、志段味課外活動施設（守山区）などが名古屋市内にあります。また、先進セラミックス研究センターが岐阜県多治見市に、木曾駒高原セミナーハウスが長野県木曾郡木曾町にあります。

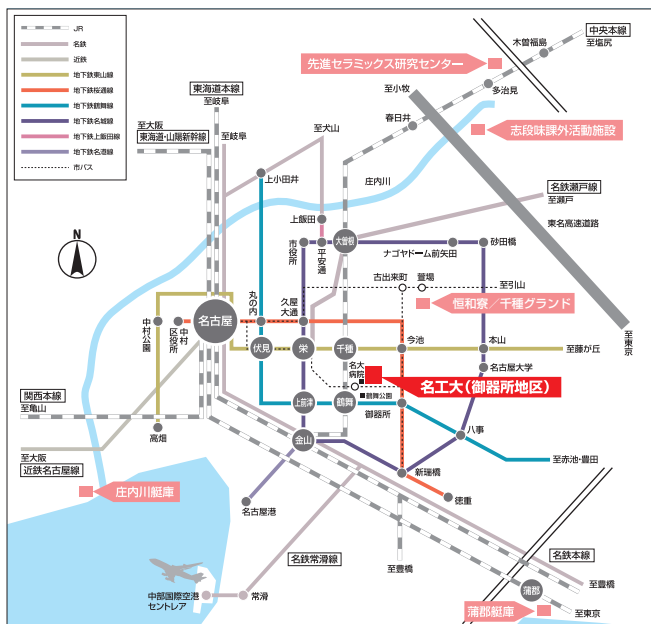


◆キャンパスマップ



アクセス

◆位置図



名称及び数字については、特に注記したものを除き、2020年5月1日現在で記載しています。

国立大学法人
名古屋工業大学 DATA BOOK
2020年9月発行

発行 | 名古屋工業大学

所在地 | 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL | 052-735-5000

URL | <https://www.nitech.ac.jp>

編集 | 名古屋工業大学企画広報課